LIGHT HOUSE
ライトハウス
〒152-0035 東京都目黒区自由が丘 1-16-13
TEL 03-3717-2711 FAX 03-3717-2721
http : //www.lighthouse-jiyugaoka.jp e-mail gospel@lighthouse-jiyugaoka.jp
郵便振替口座 00120-6-170857 みずほ銀行 渋谷支店 普通 2382850（ライトハウス）

CFI ニュースレター C2022-06 ケリテ川のほとり

[今月の聖書]

「ここを去って東に赴き、ヨルダンの東にあるケリテ川のほとりに身を隠しなさい。そしてその川の水を飲みなさい。私はからすに命じてそこであなたを養わせよう」。(列王上 17: 3.4)

「もし、神が私たちの味方であるなら、誰が私たちに敵し得ようか。ご自身の御子をさえ惜しまないで、私たちすべてのもののために死に渡された方が、どうして、御子のみならず万物をも賜らなないことがあろうか」。(ローマ 8: 31.32)

主は「私は決してあなたを離れず、あなたを捨てない」と言われた。(ヘブル 13: 5)

「私は伏して眠り、また目を覚ます。主が私を支えられるからだ。私を囲んで立ち構えるちよろずの民をも私は恐れない。」(詩篇 3: 5.6)

「苦しみにあった事は、私に良いことです。これによって私はあなたのおきてを学ぶことができました。」(詩篇 119: 71)

「すべての訓練は、当座は、喜ばしいものとは思われず、むしろ悲しいものと思われる。しかし後になれば、それによって鍛えられるものに、平安の義の実を結ばせるようになる」。(ヘブル 12: 11)

「私はあなた方を捨てて孤児とはしない」。(ヨハネ 14: 18)

「しかし、私たちを愛してくださった方によって、私たちはこれらすべてのことにおいて勝ち得て余りがある」。(ローマ 8: 37)

お元気でお過ごしでしょうか。今月は「ケリテ川のほとり」と題して、人生の最も孤独な時に神は共にいて下さるという信仰体験についてお話ししたいと思います。今年の前期は、神の祝福、十字架の愛、聖霊の働きなど神様からいただく恵みについて一つ一つお話しして参りました。それではその恵みを私たちは受け止め、感謝して育て、力強く用いて人生の勝利を得てきたでしょうか。霊的に幼く、不信仰なものにとって、神の救いの真理と、絶大な力を受け取らないまま時間を過ごしてしまったのではないでしょうか。

神が共にいてくださるという確信は、大変尊い実感なのですが、孤独と試練の中でしか体得できないのです。単に修行して勝ち取るというようなものではなく、父なる神の御手の中で、しばしば鞭と杖をもって導かれて、初めて見いだす真理なのです。

旧約聖書の中で最も偉大な預言者と言われたエリヤは、偶像を持ち込んだアハブ王に対して神の裁きを宣告しました。それほど地位の高い有力な預言者ではありましたが、命を狙われ、恐怖のどん底で、誰もいないケリテ川という川のほとりで野宿の生活を始めます。神は知識が優れているとか、神学者であるとか、社会的地位が高いとかということで人を用いないのです。この世の罪を正し、神の正義を宣べ伝える預言者に最も必要な事は、絶対に神が彼と共にいるという確信であり、必ず勝利することができるという信仰でした。それは切れなくなった刀を、研ぐような逆境における体験を必要としたのです。

しかしそれは私たちの日々の生活にも同様に必要な体験なのです。もしあなたが試練の中にあるとすれば、そこで神様と出会い、神の御言葉によって育てられ、霊性が整えられるのです。神様があなたと共にいて下さるようにお祈りいたします。

（お知らせ）

＊ウクライナ支援募金にご協力くださり感謝いたします。5 月 20 日までで 854,000 円捧げられました。また 5 月 3 日のウクライナ支援コンサートにおいて、518.981 円が捧げられました。順次ウクライナに送金しております。
なお引き続き募金活動を継続いたしますのでご協力ください。

＊コロナ感染状況が収まりませんのでもうしばらく地区集会は休会とさせていただきます。

◇◆◇ ＣＦＩ会員投稿原稿　第 85 ◇◆◇

「信仰の命、喜び、力、勇気、賛美」

武田シマ子（栃木県）

私は 80 歳ですが、毎日畑仕事をいたします。私の体は 1 日中動くことを喜びます。痛くても、しびれても、気になっても気にしません。前進前進あるのみです。昼食後 2 時間歩きます。しばしば重い体、歩くのは辛い。しかし歩いた後は軽くなります。痛み、しびれは心の鞭で鍛錬します。近くの階段 162 段上ります。

今年のメッセージ、「祝福の秘訣」「祈りの秘訣」「賛美の力」「十字架の力」そして「聖霊の働き」の一つ一つが私の心にぐいぐい食い込んでくるようです。聖霊が働いておられ私を包んでくださいます。

そして 5 月 8 日母の日礼拝のメッセージ「父が約束されたもの」はさらに私の心に大きな恵みを与えてくださいました。1820 年 5 月 12 日、フローレンス・ナイチンゲールの誕生日を取り上げてくださいました。私も若い時から看護婦として生活しましたので、「ナイチンゲール書簡集」の中の「書簡 1、2、3、4、5、6、7」を思い出しました。彼女は信仰を貫いて看護婦の教育に身を捧げ、生涯独身を貫き、病弱でも 90 歳まで、看護の天才として働き、クリミアの天使と言われました。讃美歌の中に「我もなく、世もなく、ただ主のみいませり」とありますが、そのメッセージからいただく内容と同じだと思わされました。聖霊を受けるという事は、「しばしば試練によってこの世から分離され、神に属するか、この世に属するかはっきり決断せよ」と示されることなのです。ナイチンゲールも自己否定を求めて、「自分を捨てなさい」と言いました。

私は礼拝のメッセージの中に、かつてナイチンゲールが語った偉大な言葉が皆含まれていることに驚きました。

「御言葉を軽んじるものは滅ぼされ、戒めを重んじるものは報いを得る。知恵ある人の教え（賛美）は命の泉である、これによって死の罠を逃れることができる。」（箴言 13：13.14）

そしてこのような思いに導かれたのは聖霊（助け主、慰め主、パラクレートス、母なる霊）の導きのおかげです。ハレルヤ！

◇投稿募集のご案内◇

皆様の原稿をお待ちしています。

毎月のCFIニュースレターの裏面に順次掲載させていただきたいと思います。

- ・すくいの体験のあかし
- ・個人的願いや祈り
- ・信仰生活のあかし
- ・主にある交わりのレポート
- ・最近気づいたことや発見したみことば
- ・CFIメッセージの感想や教えられたこと

何でも結構です。800字程度で、手紙、ファックスかメールで送ってくだされば幸いです。